

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009.7.1号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

開港博
Y150

開港150周年のお祝いに

自衛隊艦船はいらない!

海上自衛隊の護衛艦「しらゆき」が、横浜開港・開国博Y150の一環として、5月末～6月初に続いて、7月3～6日の4日間、新港ふ頭で一般公開されます。今回は、世界の船『Y150 船舶一般公開』として来航するコロンビア帆船『グロリア』の護衛という名目での来航です。

開幕時の一般公開の際には、ソマリア沖を航行する船長から自衛艦にあてて届いた、自衛艦の派遣を感謝する手紙を、甲板に掲示。模擬弾の展示もありました。

150周年記念事業協会発行のチラシによれば、9月にも自衛艦の一般公開が予定されています。

海賊対策を口実に、自衛隊のソマリア沖への派遣強行や、北朝鮮での基地攻撃論など過剰ともいえる軍事的対応は、平和憲法を踏みにじり、横浜港での軍艦の一般公開は、Y150そのものに水をさすものです。

公開中止を市長に申し入れ

日本共産党横浜市議団は、Y150の一貫として自衛隊の市民向け宣伝にほかならない自衛隊艦船の一般公開は許せないと、6月29日Y150での自衛隊艦船の一般公開をやめるよう、中田市長あてに申し入れを行いました。

申し入れの席で、白井正子議員は「開港150周年のお祝いの場に、ソマリア沖への派遣が問題になっている自衛隊の艦船は似つかわしくない」と述べ、強く中止を求めました。

それに対して開港150周年・創造都市事業本部長は、Y150博について「基本的には、財団法人横浜開港150周年協会の責任であるが、何かあれば事業本部として指導する。いままでそういうことはない。申し入れについては協会に伝える」と事務的な対応でした。



海上自衛隊護衛艦「しらゆき」(長さ130m、幅13.6m、深さ8.5m、喫水4.1m)＝海上自衛隊ホームページより

出足の悪さはインフルエンザ?

不振の責任をどう果たすのか?

4月29日から開催中の「開港博Y150」の有料入場者数が伸び悩んでいます。計画では、会期中の有料入場者数を約500万人(1日約3万3000人)と見込んでいますが、6月末での実績では約45万人(同約7100人)と、目標のわずか9%です。

この事態に対し、市長は「まずは無料会場に来て様子を見ている人も多いようだ。十分これからにつながる数字。不振かどうか判断すべき時期ではない」としながら、「決定的なのはインフルエンザ」と、出足の悪さを新型インフルエンザに責任転嫁する有様です。

「開港博Y150」の事業費に対する市の補助金は83億円です。赤字が発生した場合、これ以上の市税等の投入に、市民の合意は得られません。市長は、有料入場者の不振を認め、その原因・要因を多方面から分析し、緊急に打開策を講ずるべきではないでしょうか。